海

環境に適応して生きる命を感じる



定置網揚げ体験

「漁師には海の中が見える」漁師の真剣勝負に子どもたちは目を輝かせます。五〇〇メートルにおよぶ大型定置網は、揚げるにつれて魚の鱗が光ります。森と海との深いつながりを感じてください。





集団生活体験

敷地は広く、渚から海へ、海から世界へつながっている。

マリーンピア



地引き網体験

力を合わせて地引き網。宮津湾をはさんで両岸で行われており、海の幸の干物焼き等もできます。







天橋立の自然ガイドウオーク

松林の中を森林浴しながら天橋立の多様な自然をガイドが案内致します。









干物焼き体験

干ものを焼く火は炭火、焼け具合をみながら食べる味は絶品。

田井マリンフーズ

イカを生のまま食べたのがおいしかった。

~中学生の体験より

里

人の暮らしと生き物・植物のつながりを体感

藤織り体験

万葉のころからの古代布・藤布は、自生する藤の蔓を用い、紡いだもの。試着すれば気分は万葉人。伝承に取り組んで27年、その技術は京都府無形民俗文化財に指定されています。







藤布展示コーナー

藤織りの里の暮らしの道具や写真も展示し、人と人を藤の糸で結ぶ村の交流館。

藤織り伝承交流館

自分で作ったそばはやっぱり味が格別。

~中学生の体験より



柿渋作り

生活用具が腐らないように！水に強くなるように！里の人はその力を柿の渋に見つけたのです。



カンジキ作り

世界の積雪は平均 160cm。雪深い山里の暮らしには欠かせない用具。



コンニャク作り

「種芋を植えて育てて掘り出して冬を越させる」、を繰り返し、三年目に収穫した芋が使われます。



里のガイドウオーク

日本の里百選の里山「上世屋」の村ウオーク。畦道を辿り山里の自然と暮らしを体感できます。

里山の技体験

渾身の闘いの末、人は自然を生活に役立つ物に変えました。里山の智恵は、持続可能な社会へ転換するべです。五感を解き放ち、伝承技術を体験しましょう。



しな縄作り

百姓仕事は力仕事。結ぶ、束ねる、何に付けても丈夫さが大事。木は里のまわりに植えて大事にしました。



そば打ち体験

ソバ蒔きは地蔵盆の頃。花は一ヶ月後。彼岸花と混じってすてきだよ。

しおぎり荘

